

令和3年度 北小学校 グランドデザイン

＜学校経営ビジョン＞
 ○仲間・学校・地域の支えやつながりの中で、人とつながり、新しい社会を創造していく力をもった子どもを育てる学校

学校教育目標
「花とみどりと笑顔の学校」
 ～あふれるあいさつ、かよいあう心～

＜保護者・地域の願い＞（学校評価アンケートより）
 ○子どもたちが仲良く・楽しく・安心できる学校
 ○基礎学力の定着を目指す学校
 ○心身ともに豊かな体験活動ができる学校
 ○地域の素材・人材とふれあう活動ができる学校

10年後、20年後に大輪の花を咲かせるための今の創造
 「今の努力が未来に続く、今を精一杯」

よくふれあい

友だちをいっぱいつくろう

多様な大人と直にかかわり合うことをとおして、子どもたちは人に対する関心や愛着を深め、信頼感を構築していく。そのことが人と人がつながって新しい社会をつくっていく力の源となる。

- 「地域の様々な方々とかかわり合う場」の確保
 - ・北小応援団に呼びかけ、外部講師によるクラブ活動を実施します。
 - ・地域社会と関わる職業体験学習を行います。
 - ・多様な視点から子どもをサポートする「北小学校応援団」との連携を図ります。
 - ・放課後学習を推進します。
- 学年の枠を超えて友だちと交流する場の保証
 - ・学年内やペア学級でふれあいながら、互いに高め合う活動を大切にします。
 - ・子どもたちのアイデアを生かした、児童会主催の「遊びの広場」を計画・実行します。

よく学び

じっくり考えよう

「子どもは本来、やる気に満ちている。」大切なのは、子どもたちが本来もっている「やる気」や「創造」の芽を、しっかりと芽生えさせてあげること。そのために、子どもたちの意欲を引き出し、子どもたちが主体的に追究していく学習を行う。そのなかで、真の学力が高められていく。

- 子どもたちの『問い』を真ん中にすえた授業の創造（『問い』とは：追究するに値する「願い」や「疑問」）
 - ・子どもの「願い」や「疑問」をもとにした学習問題を設定します。
 - ・追究の見通しから自分の課題を明確にできる場を設定します。
 - ・追究の時間を保障し、個々のつまづきに応じた支援をします。
 - ・追究結果を交流する場を設け、学習問題と照らしてまとめます。
 - ・自分や友だちの高まりを認め合う、全体評価の場を設けます。
 - ～「主体的・対話的で深い学び」へと導く～
- 「生活科」「総合的な学習の時間」の充実
 - ・探求的な学習を通して、課題解決力を育みます。
- 「算数・外国語・人権教育」の指導を中心にした授業改善

よく遊ぶ

たくさん遊ぼう

「遊びは生きる力の源、子どもたちの生活そのものである。」遊びをとおして自己や友だちの尊厳に気づき、生きる意欲を培い、主体的に活動する力を育てる。

- 「ハッピータイム」（外遊びの日）の位置づけ継続
 - 「遊びの時間」の確保
 - ・遊びの時間を大切に、教師も子どもと一緒に外遊びを楽しみます。
 - 「朝の学級活動」の位置づけ継続
 - ・子どもが考える遊びの時間を確保し、自主性を育みます。
- 【本校の考える外遊びの価値】
- 1 身体が丈夫になり、体力がつく。（体力・運動能力の向上）
 - 2 異学年との交流が生まれ、人間関係の輪が広がる。（コミュニケーション能力の向上）
 - 3 五感が刺激され、感性が豊かになる。（思考力向上）
 - 4 主体的に物ごとにかかわることで、自主性が芽生える。（創造力の向上）



＜誇りのもてる特色ある活動＞

「異学年交流でのふれあい」
 ・ふれあい集会・北小まつりなど

「花作りを通した環境美化教育」
 ・みんなで育てるフラワーロード

「音楽が響き合う学校」
 ・サントミュージゼでの音楽会
 ・合唱部、吹奏楽部の活動

「地域の方と交流し合いながら創造する活動」
 ・外部の講師とかかわるクラブ活動
 ・職業体験
 ・りんご作り
 ・福祉体験交流り

・なかよし学級、ことばの教室、まなびの教室、日本語教室、心の相談室、保健室とつながり合う支援

＜児童理解・適切な支援＞

・個のニーズに応える支援

- ＜3つのしつけ＞
- ① 「はい」という返事
 - ② あいさつ
 - ③ くつをそろえる

- ＜2つの習慣＞
- ① 早寝 早起き 朝ごはん
 - ② テレビ・ゲームをやめて 読書・学習・一家団らん

＜保護者・地域との連携＞

- ＜PTA活動＞
- みまもっているよ運動
 - PTA活動（北小まつり・親子チャレンジ・PTA作業）

- ＜地域と共にある学校づくり＞
- 学校運営委員会の活性化
 - 笑顔まもり隊との連携
 - 家庭への情報発信